

「分からない」は終わらない

玉川学園小学部 五年 小間 史敦

僕は将来、物理に関係する仕事をやりたいです。その考えのきっかけは、幼稚園の時に玉川学園の図書館で借りた宇宙の図鑑にひきこまれたことです。そこにはブラックホールの事が書かれていました。ブラックホールとは、巨大な星がエネルギーを使い切り超新星爆発を起こして生まれる天体です。とても強い重力を持っていて光さえ抜け出すことができません。僕はその説明を見てとても驚きました。物体がブラックホールに吸い込まれると、強力な重力によってスパゲッティのように引き伸ばされた後、原子よりも小さくばらばらになってしまおうと書かれていたからです。僕はそれがどういうことなのか気になって何度もその説明を読みました。

また、ブラックホールは、吸い込むエネルギーより放出するエネルギーの方が大きいのだと知り意外に思いました。ブラックホールから光は出られないのに、吸い込んだ物がどうやってブラックホールからすごい速さで放出されるのか疑問に思いました。それから、ダークマターやダークエネルギーの正体は一体何なのかすごく気になっています。

今、僕が興味をもっている職業は物理学者です。ある番組を見て、理論物理学では、この宇宙のとても小さな事、例えば素粒子などから、ものすごく大きな宇宙全体まで、全て数式で表すことができると知り、僕は感動しました。しかし、その数式は今はまだ完成していません。だから、自分もそれを見つけないと思うようになりました。

そのために今の僕ができる事は、算数や理科の学習を一生懸命頑張ることだと考えます。更に、世界の人と研究について議論するには英語や国語の力や自分の意見を伝える力も必要になるので、学校の授業をよく聞き発言することや、自分でも勉強することが大切です。

中学高校の部活では、物理に関係する活動をやりたいです。大学では物理学を学べる大学に入りたいです。僕が好きな物理学者は、アルバート・アインシュタイン、南部陽一郎さん、村山斉さん、ステイーヴン・ホーキングです。この人達は自分の好きな物理の研究をやり続けて活躍していると僕は思います。僕もこの人達のように好きな研究を仕事にして続ける事ができたらいいなと憧れます。

物理は、何か発見をして解明されたとしてもそれで終わりではありません。分かったことから更に分からないことがうまれてくると僕は思います。そのようにして新たにうまれる分からない事を解き明かすチャンスが未来の自分にもきっとあると思っって挑戦していきたいです。

小間 史敦のライフプラン

将来なにになりたいか？ 物理学者

その理由：ダークマターやダークエネルギーの正体を知りたから。
宇宙の全てを表すための数式を完成させたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	11(小5)	学習を頑張る(特に理科算数)。授業をよく聞き発言する。	学費 塾費用
2023年	12(小6)		
2024年	13(中1)	中学校に入学。物理に関係する部活(重力)に入部する。	英会話費用
2025年	14(中2)	部活と英語、数学、物理、国語を頑張る。	
2026年	15(中3)		
2027年	16(高1)	物理系の学部での大学入試の準備(3年計画)をする。	塾費用
2028年	17(高2)		
2029年	18(高3)		
2030年	19(大1)	大学に入学する。物理学を専門的に学ぶ。	
2031年	20(大2)	物理学を専門的に学ぶ。	
2032年	21(大3)	OIST(沖縄科学技術大学院大学)入学のための準備。	
2033年	22(大4)		
2034年	23	OISTに入学して各国の人と一緒に研究をする。	
2035年	24		
2036年	25		
2037年	26	OIST卒業する。	
2038年	27	カブリ数物連携宇宙研究機構で物理学者として研究の仕事を本格的にする。	

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう！